

西大和つうしん

2022年9・10月号
No.469



奥駈縦走路より望む大普賢・小普賢・日本岳の3兄弟《2022.6.19》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第469号（2022年9・10号）

【目次】

9・10月度山行計画	2
9・10月度カレンダー	4
山行・行事等参加メモ	5
山行報告	
・例会山行1 《6/5》 金剛山地 大和葛城山（橋本）	6
・例会山行2 《6/19》 大峰山脈 大普賢岳～七曜岳（永井）	7
・例会山行2 《6/26》 鈴鹿山脈 国見岳（上田）	7
・例会山行2 《7/10》 台高山脈 天狗倉山（藤井）	9
・自主山行 《7/25-27》 中央アルプス 木曾駒ヶ岳～空木岳（橋本）	9
室内例会だより（6/12）	12

9 月 度 山 行 計 画

～ひと時の涼を求めて竜鎮溪谷を歩きましょう！～

体験山行対象 例会山行1 室生山地 《竜鎮溪谷》

【日 程】9月4日(日) (L勝尾)

※ 参加者はリーダーまで申込み(8月21日締切り)

【集 合】近鉄新王寺駅改札前 7:55 または 室生口大野 9:20

【交 通】新王寺 8:04⇒8:24 西田原本/田原本 8:30⇒7:37 大和八木 7:51⇒
9:13 室生口大野

【コース】室生口大野～(30)～室生ダム～(15)～竜鎮橋～(50)～荷坂・室生分岐～(75)～
天王橋～(30)～室生寺→バスにて室生大野口まで

※ 歩行時間：約3時間30分(休憩含まず) ※ 歩行距離：約10km

※ 途中、何ヶ所かの徒渉があります。

※ 本山行は、体験山行の対象です。お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの
方がいらっしゃいましたら、積極的に誘ってください。

～鈴鹿のマッターホルン、鎌ヶ岳へGo!!～

例会山行2 鈴鹿山脈 《鎌ヶ岳 1,161m》

【日 程】9月11日(日) (L亀高)

※ 参加者はリーダーまで申込み(8月28日締切り)

【集 合】上牧町役場前駐車場 6:00

【コース】宮妻峽(8:00)～水沢峠登山口(8:50)～水沢峠(10:00)～水沢岳(10:40)～
鎌尾根(11:20)～昼食(30分)～岳峠(13:00)～鎌ヶ岳(往復30分)～岳峠(13:40)～
雲母峰分岐(14:00)～登山道分岐(15:15)～宮妻峽(15:30)

【参 考】2017年6月11日鎌ヶ岳、2017年4月23日鎌ヶ岳(逆コース)

※ 歩行時間：約7.5時間(休憩・昼食時間を含む)

～合戦の舞台の名残に思いを馳せ、余呉湖・琵琶湖を展望しましょう！～

例会山行2 野坂山地 《賤ヶ岳 421m》

【日 程】9月25日(日) (L杉村)

※ 参加者はリーダーまで申込み(9月11日締切り)

【集 合】王寺駅 6:30

【交 通】王寺 6:47⇒7:22 大阪 7:30⇒(新快速/米原～近江塩津行)⇒9:28 余呉

【コース】余呉駅～(55)～権現峠～(40)～大平山～(50)～分岐～(20)～賤ヶ岳～(55)～
大岩山～(20)～分岐～(25)～余呉駅

※ 歩行時間：約4時間45分(休憩含まず)

10 月 度 山 行 計 画

～バンガロー泊と中国地方最高峰・大山頂上からの展望を楽しみましょう！～

例会山行2 中国山地 《大山 1,709m》

【日 程】10月15(土)～16日(日) (L杉森)

※ 参加者はリーダーまで申込み(10月1日締切り)

【集 合】オークワ香芝インター店 8:00 出発

15日(土) 香芝IC⇒(車)⇒虹の村バンガロー14:30 着(泊)

16日(日) 虹の村バンガロー6:30⇒(車)⇒南光河原駐車場～(5)～夏山登山口～
(1h55)～六合目避難小屋～(40)～八合目～(20)～大山(弥山)～(60)～行者谷
分岐～(30)～元谷河原～(20)～大神山神社～(30)～南光河原駐車場 14:20⇒
(車)⇒王寺 21:00 頃

※ 歩行時間：約5時間20分

※ 必要な装備だけで登山します。

～高原にそびえるたおやかな峰と秀麗な伊賀富士を巡りましょう！～

体験山行対象

例会山行1 室生山地 《大洞山雌岳 985m・雄岳 1013m ～尼ヶ岳 957m》

【日 程】10月30(日) (L藤井)

※ 参加者はリーダーまで申込み(10月16日締切り)

【集 合】JR王寺駅南口 6:40 または 上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】真福院～(25)～大洞山登山口～(40)～大洞山雌岳～(15)～雄岳～(45)～倉骨峠
～(50)～尼ヶ岳～(40)～倉骨峠～石畳の道～(40)～桔梗平～(45)～真福院

※ 歩行時間：約5時間(休憩含まず) ※ 歩行距離：約10km

※ 本山行は、体験山行の対象です。お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的に誘ってください。

西大和山の会 カレンダー

9月		10月	
1	木	1	土
2	金	2	日
3	土	3	月
4	日	4	火
5	月	5	水
6	火	6	木
7	水	7	金
8	木	8	土
9	金	9	日
10	土	10	月
11	日	11	火
12	月	12	水
13	火	13	木
14	水	14	金
15	木	15	土
16	金	16	日
17	土	17	月
18	日	18	火
19	月	19	水
20	火	20	木
21	水	21	金
22	木	22	土
23	金	23	日
24	土	24	月
25	日	25	火
26	月	26	水
27	火	27	木
28	水	28	金
29	木	29	土
30	金	30	日
		31	月

山行報告

例会山行1 (県連主催グリーンハイク) 金剛山地 **大和葛城山** 958.8m

【日 程】6月5日(日) 晴れのち曇り

【参加者】L 杉森・SL 藤井・都築・橋本・亀高・上田・永井・岩田・佐々木・玉野
一般参加者1名(計11名)

【コース】葛城ロープウェイ駐車場(9:36)～北尾根コース登山口(9:45)～〔北尾根コース〕～
展望ベンチ(10:25)～ダイトレ分岐(11:30)～山頂(12:32)～
ツツジ園テラス(12:42/13:10 昼食)～〔櫛羅の滝コース〕～櫛羅の滝(15:03)～
葛城ロープウェイ駐車場(15:22)

県連主催のグリーンハイクはコロナ禍の為2年行えなかったが、今年度はコロナの感染も落ち着き実施できた。一般の方1名参加していただき、北尾根コース～頂上～櫛羅の滝コースを下り清掃活動をした。

各自、清掃道具を持ち「さあ頑張って綺麗にしよう」との気持ちで出発。最初はちょっと厳しい尾根道から歩く。登山道は思ったよりゴミが少なく、持参している袋にゴミがなかなか貯まらないが、少し外れた場所にはゴミがあり、足場の悪いところは男性の方が拾ってくださった。ごみの中でもマスク、タオル類が目立った。タオル類は落とし物か忘れ物のようで、木の枝等に掛けられているがそれも回収。登山中は忘れ物、落とし物に注意ですね!!

下山道の櫛羅の滝コースは、大雨などで本来の登山道が崩れ尾根道を歩くような感じになっている。北尾根コースもやはり徐々に崩れてきているように思う。足場の悪い中アクシデントもなく無事下山。ツツジの見ごろが終わり又、ロープウェイが点検の為運休していたことも影響しているのか人が少なく、ツツジ園ではゆったり眺望を楽しみながらランチタイム。いつもとは違う静かな葛城山でのグリーンハイクでした。(記：橋本紀子)



※ゴミの量

燃えるゴミ・・・4.5 kg ビン、缶、金属・・・1.2Kg ペットボトル・・・0.5Kg 合計 6.2Kg



例会山行2 大峰山脈 大普賢岳 1,779.9m ～七曜岳 1,584m

【日 程】6月19日(日) 曇りのち晴れ

【参加者】L 野路・SL 島崎・藤井・橋本・亀高・杉森・永井・岩田(8名)

【コース】 駐車場(7:19)～和佐又ヒュッテ跡(7:32)～和佐又コル(7:56)～笹ノ窟(8:42)～日本岳鞍部(8:56)～石の鼻(9:19)～大普賢岳(10:20/30)～弥勒岳(10:56)～国見岳(11:20)～稚児泊(11:40/12:10 昼食)～七曜岳(12:40/55)～王駟分岐(13:00)～水簾の滝(14:23/33)～底無井戸(15:10)～笹の窟分岐(15:52)～和佐又コル(16:27)～和佐又ヒュッテ跡(16:40)～駐車場(16:48)

夏山の訓練山行です。和佐又ヒュッテは取り壊され、ぽっかりと空間だけが残されていました。ヒグラシの物静かな鳴声に誘われ、ブナ林の中を歩きます。4年前と同じコースをほぼ同時刻のスタートでした。役行者が修行したとされる笹ノ窟からはハシゴ、クサリのある急登が待っていました。こんな崖にハシゴを誰がどうやって運び掛けたのか、よく見ると長さや踏板の角度がそれぞれ違う。

大普賢岳の頂上は狭く眺望も開けていません。シロヤシオの花がやさしく迎えてくれま



したが、これからまだまだ長い道のりです。国見岳を過ぎて、稚児泊で昼食を摂った後の尾根道から大普賢・小普賢・日本岳の3兄弟が背丈の順に並んでそびえているのが見えます。

七曜岳の頂上は更に狭く、ひしめき合っ
て写真を撮ります。その後は無双洞までの
激下りを終えると、水簾の滝があり、水量豊
かで迫力ある音を立てていました。そのあ
とまた登り返すと、9時間半のタフなコース
を終えた時は、笑顔の達成感がありました。

(記：永井章夫)

例会山行2 鈴鹿山脈 国見岳 1,175.2m

【日 程】6月26日(日) 晴れ時々曇り

【参加者】L 島崎・藤井・橋本・亀高・野路・杉森・上田・岩田・佐々木・玉野(10名)

【コース】 御在所ロープウェイ駐車場(8:00)～藤内小屋(9:08)～国見尾根分岐(9:15)～国見岳(11:26/12:20 昼食)～国見峠(12:31)～中道登山道(15:33)～本谷口(15:33)～御在所ロープウェイ駐車場(16:15)

午前 8 時 00 分、御在所ロープウェイ駐車場出発。ロープウェイもまだ動いていない。車も人もいなくて静かだ。裏登山道 1 合目から溪谷沿いに入っていく。透き通った川の流れと滝の音、直径 1m 位はあるだろう岩がゴロゴロしている。

1 時間ほどで 4 合目藤内小屋に着く。小屋の温度計は 20℃、涼しい。御在所にも立派な山小屋があることを知った。ただし営業は土日祝日のみ、食事有り、要予約なので注意。山と山の間から四日市方面と伊勢湾が霞んで見えている。休憩しているとポツポツと雨、怪しい曇、遠くで雷も鳴っているようだ。沢と分かれて国見尾根に入り上りが始まる。三点確保で網目の様に絡み合った木の根をつかんで斜面を登っていく。普段は迷惑な枝や木の根もこんな時はありがたい。P1004、振り返ると視界が開け、歩いてきた谷合と先ほど休憩していた藤内小屋が眼下に見えた。なかなかの急登だった、国見峠までもう少し、頑張ろう。樹林帯からアカヤシオやトウダンツツジに変わり空も近くなってきた。しばらく歩くと落ちそうで落ちないゆるぎ岩、天狗岩、花崗岩でできた奇岩が現れ始める。



いよいよ国見峠、数分で国見岳。遠く西に目をやれば琵琶湖、正面奥は御池岳、東には四日市市街と伊勢湾が望める。まだ梅雨時期だが赤とんぼが早くも飛び交っている。ハルゼミもジージーと鳴いていて梅雨明けしたかのようだ。石門では一人一人が通れる幅の石壁が向かい合って立っている。天井にあたる岩に上り思い思いのポーズで記念写真を撮る。どの岩も個性豊かでいろいろな形に見えてくるから面白い。

帰路は中登山道から下る。幸い雨の心配もなさそうだ。鎖、ロープ、岩下りが始まる。ザレ場で滑りやすく大岩を巻いて慎重に下る。だんだんと登って来るハイカーも増えてきた。家族連れ、グループ、奇岩を楽しめる人気のコースだ。御在所で人気の地藏岩が現れる。これは圧巻、なんとも不思議だ。いつからこの形なのか？ 若者 2 人が何とかこの岩に立とうと挑戦中。登山道はロープウェイの下を横切っていく。赤いゴンドラが上り下りとすれ違う。

南に鎌ヶ岳がドンと構えている。厚みのある二枚の大岩が登場。大きすぎてカメラに収まらない、負れ岩(おばれいわ)と呼ばれている。どんどん標高が下がり蒸し暑くなってきた。15 時 30 分中登山口に無事下山。

今回は夏山登山訓練、出発時のザック重量 8 キロ、水分補給の度に軽くなり下山時はたぶん 6.5 キロくらいかな？ キレットあり、岩場、鎖、ロープ、草木や木の根を掴み、全身をよく使った気がする。御在所の登山ルートは変化に富み体力に応じた登り方ができ、疲れたらロープウェイで下る事も出来るのがいい。

(記:上田雅子)



例会山行2 台高山脈 **天狗倉山** 522m

【日 程】7月10日(日) 曇り一時雨

【参加者】L永井・SL岩田・島崎・藤井・杉村・橋本・亀高・杉森・佐々木・玉野
(10名)

【コースタイム】鷲下登山口(8:40)～馬越峠(10:00)～天狗倉山(10:38/11:10)～馬越山(11:43)～
オチョボ岩(12:14/38 昼食)～登山口(14:45)～道の駅海山(15:45)～
鷲下登山口(15:52)

熊野古道伊勢道の石畳道からスタート。ポスターに取り上げられるほど美しい石畳道だが、朝まで降っていた雨で濡れていて滑りやすい。ここを下るのは大変そう!!

馬越峠はベンチもあって林の中の落ち着いたたたずまい。ここから急階段が続く。岩の間を縫っていくとひととき大きな天狗岩が現れる。スリル満点の梯子を登ると岩の上は思いのほか、広がっていて天狗倉山の山頂だ。残念ながら展望はなかったが、時折尾鷲の街並みや熊野灘が姿を見せてくれた。東に向かい東峰、馬越山、カンカケ山を縦走する。オチョボ岩からは雲海に浮かんだ入り組んだ海岸線が見え隠れし、幻想的だった。昼食をとっていると、小雨が降り出してきた。

予定では水地越峠から下山することになっていたが、登りで使った石畳道を下るのは危険と判断し、このまま尾鷲トレイルを直進し迂回して海岸沿いの林道に降りることにした。尾



鷲トレイルというもの、急こう配に濡れた落ち葉の道が延々と続き気が抜けない。時折海が見えるが、なかなか近づいてくれない。これで標高 522m? 侮ってはいけない。やっと林道に下り、平坦な道のなんと歩きやすいこと!! 疲れも何のその、急ピッチで道の駅まで戻った。途中赤いかわいい沢蟹がチョコチョコして癒してくれた。

高速を使って約2時間半、走行距離片道140キロ。日帰り山行としては遠くに来たが、古道の石畳道、巨石群、美しい南紀の海の展望と盛りだくさんの山行だった。(記:藤井益子)

自主山行 中央アルプス **木曾駒ヶ岳** 2,956m～**空木岳** 2,864m

【日 程】7月25日(月)～7月27日(水)

【参加者】L野路・橋本・永井・岩田(4名)

7月25日(月) 晴れ 木曾駒ヶ岳

【コース】 佐味田川(4:00)⇒駒ヶ岳菅の台バスセンター(9:13)～千畳敷駅(10:50)～
(散策路を歩く)～宝剣山荘(12:30)～中岳(13:30)～木曾駒ヶ岳(14:10)～
中岳(14:50)～宝剣山荘(15:10)

好天に恵まれた第一日目の山行。菅の台バスセンター～しらび平駅～ロープウェイに乗り継ぎ千畳敷駅に着く。ハイキング姿の家族連れの人達や、ヘルメットを持って本格的に山登りする姿のパーティー等様々な目的で雄大なカールの散策路に入っていく。色々な可愛い高山植物が咲き、遠くには霞む富士山を眺めることができた。午後からは宝剣山荘まで行き荷物を置き、中岳を経て駒ヶ岳に登



り 360 度の景観を楽しんだ。明日歩く宝剣岳から空木岳へと続く稜線を眺めながら「遠いなあ!!」の言葉しか出なかった!!

ロープウェイで標高 2,640m まで登ることができるが、駒ヶ岳頂上を目指すにはアップダウンもあり約 2 時間近く掛かる。年配の登山者の方々がゆっくりゆっくり、ととてもしんどそうだが頂上を目指し進まれる。「私ももう少し頑張れるか」と思い直す場面でした。

(記：橋本紀子)

7月26日(火) 晴れ時々曇り 宝剣山荘～宝剣岳 2,931m～木曾殿山荘へ

【コース】 宝剣山荘(5:10)～宝剣山頂(6:00)～濁沢大峰(8:15)～檜尾岳(9:58)～熊沢岳(12:04)～
東川岳(14:10)～木曾殿山荘(14:40)

午後からは天気が崩れる予報。でも青空が広がっているので計画変更せず予報が外れる事を願いながら出発。目の前にそびえる急峻な岩山「宝剣岳」頂上を目指す。雄大な御嶽山、乗鞍岳を遠くに見ながら鎖場を慎重に通過する。垂直に見える一枚岩、もちろん鎖は付いているが緊張した。無事通過し、この先幾つものピークを踏みながらの長い稜線歩き「頑張りましょう!!」と声掛けしながら進む。出会う人も少なく静かな山歩き、ハイマツ帯を進み木曾殿山荘にやっと到着。雨に降られずラッキーだった。木曾殿山荘は、大部屋だが綺麗にできてとても気持ちいい山荘だった。(記：橋本紀子)





7月27日(水) 雨時々曇り 木曾殿山荘～空木岳～菅の台バスセンターへ

【コース】木曾殿山荘(5:20)～空木岳(7:20)～駒峰ヒュッテ(7:40)～空木岳避難小屋(9:00)～空木岳登山口(14:20)～菅の台バスセンター(16:00)

朝方小屋に叩きつける雨、風の音に目が覚める。少し収まってから小屋を出発。巨岩群の空木岳。雨で滑りやすくなっているのとにかくゆっくりでも慎重に歩くことをメンバー一同確認して進む。雲が立ち込め目指す頂上が見えないのが残念! 鎖、ホッチキスのような鉄杭は付けられているが、岩が濡れているので滑らないようしっかり足場を確保して歩いた。とても厳しい岩歩きだった。雨も止んだかと思うと又降り出す。下山道は展望もなく、転ばないようにただただ足を動かした。菅の台バスセンターにたどり着きやれやれ。長く続く下山道は疲れている体に非常に堪えた。(記:橋本紀子)



室内例会だより

【日 時】2022年6月12日(日) 16:00~17:00 リーベル王寺東館5階フリールーム1

【出席者】永井、杉森、亀高、野路、岩田、杉村、島崎、藤井、村田、橋本、上田、佐々木、
玉野、都築(記録)

1. 山行計画

7月3日(日) 例会山行1 布引山地《青山高原 髻山 756m》……………L上田
7月10日(日) 例会山行2 台高山脈《天狗倉山 511m》……………L永井
8月28日(日) 例会山行1 台高山脈《大台ヶ原・日出ヶ岳 1,695m》……………L玉野

2. 山行報告

4月21日(木)~24日(日) 自主山行 山梨の山 富士見山行《王岳 1,623.3m、石割山
1,412.3m、太平山 1,295.4m》L島崎……………4名
5月8日(日) 例会山行1 和泉山脈 紀泉アルプス《飯盛山 384.5m》L永井……………11名
5月15日(日) 自主山行 法皇山脈《西赤石山 1,626m》L野路……………5名
5月22日(日) 例会山行2 大峰山脈《稲村ヶ岳 1,726m・大日山 1,689m》L岩田……………8名
5月29日(日) 例会山行2 鈴鹿山脈《藤原岳 1,140m》L野路……………7名

3. 報告・連絡事項等

○懇親会

2022年6月12日(日) 17:15~ 13名参加。

○初日の出山行

2023年1月1日(日) 明神山(王寺町)については、今回は例年通り実施。

以上

西大和つうしん

第 469 号 (2022 年 9・10 月号)

2022 年 8 月 31 日発行

発行責任者 永井章夫

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>